

心臓・脳血管リスク検査のご紹介

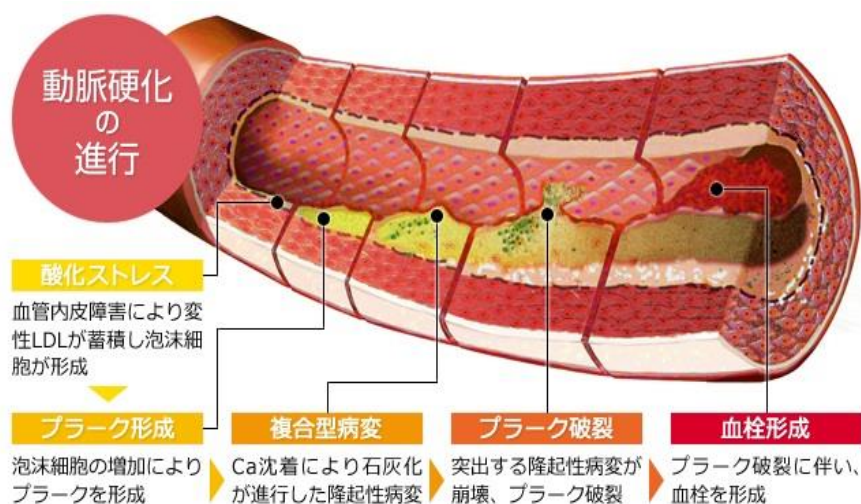
このような方におすすめてです

- **血縁家族に心筋梗塞・脳梗塞にかかった人がいらっしゃる方**
- **高血圧、脂質異常症、糖尿病の方**
- **40歳以上で、喫煙している方・肥満が気になる方・閉経後の方**

血液検査で心筋梗塞・脳梗塞のリスクがわかる 新しい検査「LOX-index(ロックス・インデックス)」

LOX-index値が高いと、心筋梗塞・脳梗塞の発症率が高くなる
ことが国内の研究でわかっており、**LOX-index**を検査することで、血液と血管の状態を知ることが出来き、心臓・脳血管疾患のリスクを予測することができます。

血液検査で簡単に検査でき、受診から約2～3週間程度で、検査結果とその解説および改善指導をまとめた詳細な報告書をご本人にお返しします。



<検査に関する注意点>

- ◇妊娠中は検査をお受けできません
※妊娠されている方は数値が高くでる傾向があります
- ◇風邪、関節リウマチなどは検査結果へ影響する場合があります

ロックスインデックス(LOX-index)とは

動脈硬化は自覚症状がないまま進行し、ある日突然脳梗塞・心筋梗塞を発症してしまう怖い病気です。ロックスインデックスは、血液中の酸化変性LDLとsLOX-1を検査することで**将来の脳梗塞・心筋梗塞の発症リスクを評価する血液検査**です。検査結果で、脳梗塞・心筋梗塞のリスクがあれば予防対策を取って、早い段階からリスク回避していただけます。

- 健診・人間ドックのオプション検査として受診可能
- 検査価格：12,960円(消費税込)

心筋梗塞・脳梗塞のリスクを知る

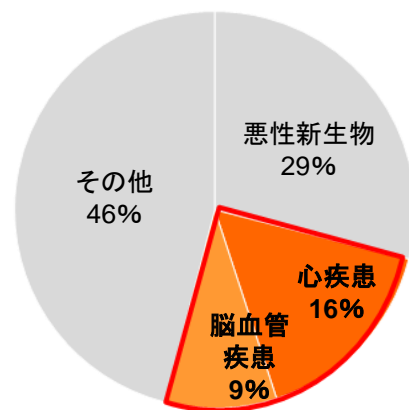
心筋梗塞・脳梗塞を“予防”するには？

平成24年の統計データによると、日本人の死因第2位の心疾患（心筋梗塞や狭心症など）と第4位の脳血管疾患（脳梗塞、脳出血、くも膜下出血など）を合わせると、**約4人に1人が動脈硬化が一因とする疾患で亡くなっています。**

動き盛りを突然襲う、心筋梗塞・脳梗塞

また、記憶に新しいところでは、30代のサッカー選手の急死、30代の女性アナウンサーや40代の女優の入院など、若年化も進んできています。特に脳梗塞は、日本人の寝たきりの原因第1位で、一命を取り留めても重い後遺症が残るものです。脳梗塞、心筋梗塞を防ぐためのまずは第一歩として、自分の血管の危険度を知るところから始めてみましょう。

日本人の主要死因とその割合



心臓・脳血管疾患計 25%

厚生労働省「平成24年人口動態統計」より

生活習慣・血管セルフチェック

- 週に5日以上お酒を飲む
- 胸がギュッと締めつけられる感じがする
- タバコを毎日吸う
- 定期的に運動をしていない
- 以前より物忘れをすることが多くなった
- 親族に心臓病や脳卒中で倒れた人がいる
- インスタント食品や脂っこい食事をよくとる
- せっかちでイライラすることが多い
- 最近、時間に追われている感じがする
- 手足の脱力感やしびれを感じることもよくある

6つ以上該当する方…

危険な状態です。既に小さい梗塞や血管の狭窄が起こっている可能性があります。早めの検査で血管の状態を知ることをおすすめします。

3つ以上該当する方…

動脈硬化のリスクがあります。生活習慣の見直しで改善可能ですが、1度検査で血管の状態を確認することをおすすめします。

該当が2つ以下の方…

動脈硬化のリスクは少ない状態です。今後も健診や人間ドックを定期的に受診し、健康に心がけてください。



医療法人社団 天宣会
汐留健診クリニック

住所・TEL

〒105-0013 東京都港区浜松町1-17-10

TEL: 03-3432-8888

FAX: 03-3432-8889